大好き!絵本

初瀬　恵美

『うどんのうーやん』
さく・え：岡田よしたか
出版社：ブロンズ新社

ゴールデンウィーク明けに大阪から大学時代の友人家族が、からたち保育園に遊びにきてくれました。初めて**生の関西弁**をきいた子ども達は、目をまん丸くしていました。ふだん聞きなれない言葉を耳にするというは、言葉も出ないほどの体験にもなるんだなと思いました。

その友人が来る日の朝、私は子どもたちに「今日ね、うどんのうーやんみたいなしゃべり方をする人がくるよ！」と伝えていました。「えっ！本当？」「なんで？」と興味津々でした。でも、話しかけられると少しドギマギして、すっかりおとなしかった子ども達。その友人が去ったあとに、「**「そやな」**っていわした！」「**「ほんまに」**っていわした！」と少し興奮気味に真似をしてくれました。いまだに、えいこうくんは、「もう、うーやんの人、来んと？」「なんで、こんと？」と聞いてくれます。ふだんのお客さんよりも、印象に残ったようでした。

さて、前置きが長くなりましたが、お察しの通り、今月の絵本『うどんのうーやん』は、関西弁で書かれた絵本です。出前の注文が入ったうどん屋さん。人手不足の為**うどんのうーやん**に、出前を頼みます。つまり、自分で注文されたところへ行ってきてくれ！（笑）というのです。うーやんは「ほな　いってきますう」と元気よくでかけます。その先々でいろいろなことに出会い、仲間を増やし、友情を深め、出前先までたどりつきます。奇想天外でおもしろい絵本。テンポもよく、関西のノリに、少し戸惑うこともあるかもしれませんが、ついつい笑ってしまいます。ちょっぴり、シュールな場面もありますが、そこはご愛嬌といった感じです！深く考えず、おもいっきり、楽しんでいただきたい一冊です！